

豊川霞（賀茂地区） 作業部会議事録（1/4）

会議開催日 令和 7 年 6 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
霞堤地区浸水被害軽減対策フォローアップについて				
1	ワンコイン浸水センサは、ガードレールぐらいの高さに設置するイメージでよいか。	道路擁壁に設置しようと思っている。 道路から 10cm の高さに設置し、10 分浸水するとセンサが反応し地図に反映されるシステムになっている。 この場所を選択した理由は、川（河川名不明）にフラップゲートがあるため間川の水位が上がってきても浸水開始時間がずれる可能性もあるので、どのタイミングで上がってくるのか確認したいということでここに設置した。	市	
2	間川の水門は早めに閉めるということか。 開けていて一方的に水が入ってくると農作物がやられてしまう。 そこで、間川の水を入れて中和させるが、早く入れすぎると賀茂の水位が上がってしまうため水門を早く閉めると説明を受けた。 間川から逆流してくるところが一番低く、町内の雨水も最初に溜まる。 道路より 1 メートルぐらい低い。	この辺りが一番低い場所と考えている。 水位計とのタイミングのずれを確認したい。	市	
3	（主な取組みの進捗）のハード対策の今後のスケジュールについて、令和 7 年度までの短期のところの樋管、工事用道路、支川対策、河道掘削・樹木伐採については完成するということ でよいか。	賀茂地区において樋管工事は完了しており、今年度は樋管の上の盛土工事を一定量進める。	国	
4	今年度の盛土はどのぐらいまで予定しているのか。小提の計画の高さぐらいまでか。	図で赤く示している範囲で盛土を考えている。高さとしては、今年度は少なくとも樋管の範囲は完成堤の高さまで施工していきたいと考える。締切、工事用道路についてはまだ残る。	国	
5	今後、支川対策、河道掘削・樹木伐採についてはどのような予定になるか。	賀茂地区において支川対策はない。河道掘削、樹木伐採については、本川での対応としてスケジュールに含めている。	国	

豊川霞（賀茂地区） 作業部会議事録（2/4）

会議開催日 令和 7 年 6 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
6	賀茂地区の工事は最終的にいつ完成するのか。	令和 16 年まではかからないと考えているが、令和 11 年は超えてしまう見通しである。	国	
7	本計画について 10 年前の説明では、4 地区同時に施工し早めに完成するとのことだったが、その後設楽ダムに合わせて工事 も延期になるなど話が違ってきている。 樋管工事をしてくれたことはありがたいが、もっと早く進めてほしい。	承知している。 ほかの地区についても、逐次とはいかないが計画を進めている。 築堤・小堤についてはもう少し時間をいただきたい。	国	
8	地元の方がそれをどれだけ理解してくれるのかを考えるとつらいところである。 期成同盟会でも要望はしている。 いつも同じような堤防の草刈りと修繕で維持管理費は増えるのか。 事情があるにせよ、しっかり予算を取って早く進めてもらいたい。	承知した。 令和 7 年度の予算については昨年度と同程度だが、補正予算も活用しながらしっかり進めて参りたい。	国	
9	（昭和 44 年 8 月洪水における小堤完成後の浸水範囲）の小堤完成後の浸水範囲について、昭和 44 年と平成 23 年の洪水に比べ、令和 5 年の洪水の方が、浸水範囲が広い印象がある。 平成 23 年の洪水では、豊橋市から北側（新城、作手方面）で雨が降って石田の水位が上がり、豊川が暴れていた。 一方、令和 5 年の洪水では、満潮時に重なっても豊川は落ち着いていたにもかかわらず 50cm 以上浸水した。 当時は、線状降水帯による大雨が豊橋市、東三河の南部に降り、内水氾濫が発生して被害が出た。 これまで設楽ダムの完成で水位が 50cm 下がると説明を受けてきたが、令和 5 年のような南側の大雨の場合、様相が異なってくるのではないか。 これまでとは天候も変わってきているので、設楽ダムだけにこだわらず、その辺りも加味してほしい。	確かに雨量強度や降り方によって水位が変わってくる。 完璧な予測は難しいが、現時点で可能な解析の中で示した結果、この図になることをご理解いただきたい。	国	

豊川霞（賀茂地区） 作業部会議事録（3/4）

会議開催日 令和 7 年 6 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
霞堤地区浸水被害軽減対策計画の改定について				
8	内外水浸水シミュレーション結果について、水深はどこを基準にしているのか。	地盤高が規準になる。 道路というよりは、その土地のその場所の高さを基準にしている。	国	
10	豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画改訂案の霞提地区に浸水被害が発生した場合の対応について、収入保険に加入して備えてくださいとあるが、現在は施設もたくさんあり一度被害にあうと結構な損害が出る。 毎年保険料を払っているが、市から何か補助的なものはないのか。 多くの農家が苦しんでいる。 意識してほしい。	関係機関と協議したが、霞堤に特化した対策は難しいとの結論になった。	国	
11	施設と自宅が浸水被害に合い、家を建替え中である。 同じ場所に建替えるとなると桁違いに資金がかかるため、同じ地区から出て行った家もある。 気持ちのぶつけどころがない。	令和 5 年 6 月の出水でも見舞金の制度があったので、まずは窓口に相談をいただきたい。	国	
12	浸水地区ということで住居が建てにくく、地域の子どもの数が減少している問題がある。 賀茂地区の去年の出生数が一人。 校区としても良い対策はないかと考えているが、何とか早く整備を進めてもらい、家や人が増えるような段取りをお願いしたい。	できるだけ早く整備できるよう、予算確保に努めていく。	国	
13	将来的に本堤を作るのはいつになるのか。	次期整備計画の中で検討する事案であり、何年度という明確なことは現時点では申し上げられない。	国	
14	小堤だけでは住民もなかなか納得しないのではないか。 設楽ダムができてから本堤を作るという話があったが、その後、ダムができないと本堤は作れないというようにだんだん話が変わってきている印象がある。 本堤を作ると言ってくれば、納得してくれるのではないと思う。	金沢地区からも同じようなご意見をいただきおり、考え方が整理でき次第お示ししたい。	国	〔補足〕 次期整備計画の中で検討する事案であり、何年度という明確なことは現時点では申し上げられません。

豊川霞（賀茂地区） 作業部会議事録（4/4）

会議開催日 令和 7 年 6 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
内外水浸水シミュレーション結果について				
15	内外水浸水シミュレーション結果について、昭和 44 年ごろには、現在の三上橋の下にコンクリート製の橋があり、それが堰となって水位が1メートルは上がると言われていた。 それが無くなったことで流れが良くなり水位が下がったはずなのだが、同じような被害が想定されるという点に注意が必要ではないか。 最近はそれ以上に雨が降るということか。	三上橋の下の、コンクリート製の橋を加味して計算したかを確認する。	国	[確認結果] 三上橋の下流のコンクリート製の橋は、現在はないと認識している。 現在の河道水位の計算には、現在、存在する橋脚を考慮し、河道水位の計算には橋脚による堰上げを考慮しています。
16	昭和 44 年洪水時の豊川の水位で、かつ令和 5 年洪水時の雨が下流で降った場合の浸水シミュレーションは可能か。	シミュレーションが可能かどうか確認する。	国	
17	令和 5 年洪水時は、ほぼ満潮と重なった。 満潮で豊川の水位が上がり、そこに豊橋市、新城の下流側で 400 ミリの雨が降り、さらに上流の東三河、奥三河、設楽でも 400 ミリの雨が降って豊川に流れ込む。 そういった最悪の条件における浸水シミュレーションを示してほしい。 地元説明会に間に合うようならお願いしたい。	雨を複合したシミュレーションが可能かどうか明確には回答できないが、改めて整理してまた説明をさせていただく。	国	[補足] ご意見のありました浸水シミュレーションについては、「想定最大規模降雨」の浸水想定区域を参照してください。
その他				
18	樋門と樋管の違いは何か。 わかりにくいので統一してほしい。	樋門と樋管には明確な定義がない。 地域によって使われ方は様々だが、比較的サイズが小さいものを樋管、水門のように全部開いていれば樋門と呼ぶことが多い。 賀茂樋管については樋管で統一している。	国	
19	間川の栄地区にできた水門について、管理はどこがするのか自治会長から問合せが来ている。 消防団の管理か、市の管理か。	協定を結んで管理主体を決めている場合もあるので、改めて整理してまた説明をさせていただく。（市管理であり、自治会と調整中）	市	